

宮津ふるさとの森を育てる協議会の活動

～ 地域の皆様の協力を得て活動を行っています。皆様もボランティアに参加しませんか。～ 平成24年5月発行

◎ 4月 雪起し作業

【雪起しは、雪で押さえられて倒れた樹木を真っ直ぐに起こす作業です。】

- ・ヒノキは、主に家の柱などに使用するので、真っ直ぐな木になるように育てる必要があります。
- ・時期は、雪が融けた早春(4月頃)に行い、支柱や近くの立木に麻なわなどで結び、引き起こして真っ直ぐに固定します。
- ・樹木の根元が固定するまでの間、毎年続けます。



◎ 7月 下草刈り作業

【下草刈りは、育てようとする樹木に陽光が当たるように周囲の草木を刈り払う作業です。】

- ・周囲の草木は、育成する樹木の成長より早いいため、植栽木の生育を阻害します。
- ・植栽木の生育に支障のない高木(天然木など)は残します。
- ・全面または部分的に刈る方法があり、「全刈り」・「筋刈り」・「坪刈り」などがあります。
- ・時期は、草木の成長が盛んな6月下旬～7月の夏期に行います。
- ・植栽木が周囲の草木に負けなくなるまでの間、毎年続けます。



◎ 10月 ドングリ拾いと学習会など

【ドングリとは、ブナ科の果実の総称で、殻斗(カク)と呼ばれる実の下部または全部を覆う(おわん状・まり状)のものが付いています。】

- ・この地域では、スダジイ・クリ・コナラ・ミズナラ・シラカシ・ウラジロガシ・アカガシ・アヘマキ・ブナなどがあります。
- ・秋(10月頃)になると、木の枝にドングリ等が実ります。
- ・この実を採取し水の中に入れると、虫食いの実は浮かぶため、取り除いた後、ポットやプランターにまきます。(とりまき)
- ・翌春には芽を出し、2～3年で山に植えます。



【学習会は、秋の実りや自然を楽しむため、ドングリ拾いとあわせて行う計画をしています。】



◎ 10月 森づくりの実践 植樹祭「育てよう四季のもり」

【大勢のボランティアの皆様に参加していただき、ヒノキや、広葉樹等を植えていきます。】

- ・「ふるさとの森」には色々な木が育っています。
- ・この森を四季折々の自然豊かな山にするため、ヒノキや上宮津スギの針葉樹、花や実の美しい広葉樹を植えます。

